

I N F O R M A T I O N

■「あらし山びこ」スケジュール

本学図書館の児童書コーナー「あらし山びこ」設置を機会とし、近隣の小学生や児童を対象に開催するイベント「あらし山びこ」。毎回テーマを決めて、そのテーマにまつわる絵本の読み語りや、お話などを地域の方と交流しながら展開します。



○2月14日(土) テーマ「立春」
○3月14日(土) テーマ「巢立ち」

時間：13時30分～
場所：京都嵯峨芸術大学附属図書館 児童書コーナー

■ 附属博物館／附属ギャラリー「アートスペース嵯峨」スケジュール

附属博物館
・「京都嵯峨芸術大学収蔵品展—新収蔵品を中心に—」(仮称)
2009/4/2～4/18(予定) (主催：京都嵯峨芸術大学)

附属ギャラリー
・「見えない未来に殴り込め 《美術!生きのこり塾。の展示と後援会》」
2009/2/11～2/23 (主催：美術!生きのこり塾。)
・「2008年度生涯学習講座 受講生作品展」
2009/3/3～3/8 (主催：京都嵯峨芸術大学文化事業部)
・「京都嵯峨芸術大学収蔵品展—新収蔵品を中心に—」(仮称)
2009/4/8～5/2(予定) (主催：京都嵯峨芸術大学)

■ 本学関係者による展覧会情報

・箱崎睦昌／日本画
『両洋の眼 2009 東京展』 2月1日(日)まで開催中 日本橋三越本店
『現代の水墨画2009 ～水墨表現の現在地点～』 1月30日(金)～3月22日(日) 富山県水墨美術館

・猪熊桂子／日本画
『両洋の眼 2009 東京展』 2月1日(日)まで開催中 日本橋三越本店

・前田恭子／日本画
『ハナモヨウ 阿部友子・織田涼子・前田恭子3人展』 2月1日(日)まで開催中 ギャラリー恵風(京都)

・京都嵯峨芸術大学芸術学部／油画分野
『油画研究室展「思考する視線—des regards qui pensent」』 2月1日(日)まで開催中 同時代ギャラリー
※油画分野の教員関係者7名(イチハラヒロコ、入佐美南子、宇野和幸、中野庸二、長谷川一郎、堀井聡、山本直木)が出品する研究室展。

・入佐美南子／油画
『春季 二科展』 3月14日(土)～3月24日(火) 東京都美術館

・イチハラヒロコ／油画
『王子さまが来てくれたのよ、世界でいちばんしあわせよ。』 3月7日(土)～4月25日(土) 鎌倉画廊(神奈川)

・長谷川一郎／油画
『FTCJ主催チャリティーアートオークション PARTY ～ふれる宇宙～』 3月3日(火)～3月8日(日) LADS GALLERY(大阪)

・土手朋英／日本画
『春季 創画展』 2月25日(水)～3月2日(月) 高島屋日本橋店

・清水豊／日本画
『春季 創画展』 2月25日(水)～3月2日(月) 高島屋日本橋店

■ 京都嵯峨芸術大学公式サイトのご案内

「KSUA ART PROJECT」展開中！
京都嵯峨芸術大学公式サイトにて
最新の大学情報をご覧くださいませ。
<PC> <http://www.kyoto-saga.ac.jp>

こちらのQRコードを使って、
携帯サイトにアクセスする
ことも出来ます。



■ 大学行事予定

2008年度連続公開講座
「京の美意識」スケジュール

○第40回2月21日(土)
「花街の四季」松尾久枝
＜お茶屋・祇園「多麻」女将＞

○第41回3月21日(土)
「京都の不思議」黒田正子
＜編集者・ライター兼エッセイスト＞

○第42回4月25日(土)
「京の訪問とおもてなしの作法」岩上力
＜儀式作法研究家＞

※いずれの回も14:20～有響館G401教室にて
(参加無料)。お申込み・お問合せは文化事業部まで。TEL.075-864-7898

大学行事予定(2月～4月)

○2月
4日(水)～8日(日)
進級・卒業制作展(於：京都市美術館・大学キャンパス)
12日(木)～21日(土)
後期集中講義期間 26日(木)
短期大学部一般入試(後期)、専攻科入試(後期)
27日(金)
大学院入試(後期)、芸術学部一般入試(後期)・
3年次編入入試(後期)

○3月
18日(水)
芸術学部プレゼンテーション入試、短期大学部自己推薦入試(後期)、芸術学部・短期大学部特別入試(帰国生・社会人)
19日(木)
卒業・修了式(於：大学講堂)、教育後援会主催祝賀パーティー(於：グランドプリンスホテル京都)
23日(月)～27日(金)
在学生オリエンテーション

○4月
2日(木)
入学式
2日(木)～7日(火)
オリエンテーション

京都嵯峨芸術大学広報

第 27 号
2009年1月30日発行

編集●京都嵯峨芸術大学 総務部 広報室
発行●学校法人大覚寺学園京都嵯峨芸術大学
〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町1番地
TEL.075-864-7859
FAX.075-881-7133
info@kyoto-saga.ac.jp

京都嵯峨 芸術大学 広報

KYOTO SAGA

UNIVERSITY OF ARTS

PUBLIC RELATIONS

VOL.27

Contribution

2008年度
「京都嵯峨野文化サロン」を終えて

京都嵯峨芸術大学 学術顧問 大竹仁子



News

理事会報告 学園創立40周年記念事業報告—耐震診断について—
大 学 報 告 学長選挙報告／戦略的大学連携支援事業補助金の獲得／入試報告／高大連携／第37回卒業・修了制作展告知



Topics

教員・在学生の活躍

「ART UNIV.2008」を開催／「GEISAI MIAMI 2008」に本学の大学院生が出展！

大学行事

ハロウィン／嵐芸祭(学園祭)／冬の祭典(クリスマスイベント)

地域連携

「京都・嵐山花灯路2008」開催！／カフェ・ギャラリー「嵯峨野湯」にて展覧会を開催

特別講座

特別講座「エイリアンプロダクションズ」開催

博物館・ギャラリー企画展報告



Information

附属博物館／附属ギャラリー
「アートスペース嵯峨」スケジュール
「あらし山びこ」スケジュール
本学関係者による展覧会情報
京都嵯峨芸術大学公式サイトのご案内
連続公開講座「京の美意識」
大学行事予定



KYOTO SAGA
UNIVERSITY OF ARTS

2008年度 「京都嵯峨野文化サロン」を終えて

京都嵯峨芸術大学 学術顧問 大竹仁子



今年も10月が近づくと天気予報が気になり出した。「京都嵯峨野文化サロン」で能を野外の石舞台でやることになっていたからである。毎日、コンピュータを覗くが、10月11日はずっと雲と傘マークが付いている。毎年のことながら、ただただ天に祈るばかり。気休めとは知りつつ、演じてくださる金剛永謹宗家、主催者である大覚寺の黒髪寛延執行長や本学の三好郁朗学長に「晴男ですか、雨男ですか」とたずねまわる。気象予報士になったつもりで天気図を分析する。当日の朝もまだ傘マークが付いたままだった。しかし、午前中ちらついていた小雨が午後になると少しずつ東に流れていった。

講演をしてくださる吉岡幸雄先生がお見えになり、宸殿の広い廊下には、先生の手で再現された重ねの色々が飾られていく。「時に合ひたる」を最良として季節の移ろいを楽しんだ平安時代の大宮人たちが美しい装束に身を包み、私たちを古の世界に誘ってくれているかのようだ。

『源氏物語』には、当時の公家たちの風俗や美意識、人や自然に対する考え方や感じ方など多岐にわたる知識が隠されている。さりげない描写の中から、当時の色彩に関する細やかな表現を、吉岡先生がていねいに読み解いてくださる。あらためて古代人の自然との関わりの深さや知恵の豊かさを感じ入った。

「京都嵯峨野文化サロン」は、本学が四年制大学を併設し、それまでの嵯峨美術短期大学を改め、京都嵯峨芸術大学としてから1年後、2002年に大覚寺と本学が連携して立ち上げた企画である。折しも文部科学省は大学開放を推進していた。本学でも、大学の開放や地域との連携が論議され、その一つの試みとしての企画でもあった。以来、

- 2002年 「京都嵯峨野に探る『平家物語』の世界」
(①講演:宮尾登美子、笛:藤舎名生、②講演:杉本秀太郎、平家琵琶:橋本敏江)
- 2003年 「平安人の心を捉えた『梁塵秘抄』の世界」
(講演:隴谷 壽、今様:日本今様譚舞楽会)
- 2004年 「京の美意識を創り出した『古今和歌集』と『新古今和歌集』にみる雅の世界」
(講演:福嶋昭治、歌:阿武野逢世他)
- 2005年 「自然と人の心が織りなす『源氏物語』の世界」
(講演:隴谷 壽、福嶋昭治、上方舞:吉村桂充)
- 2006年 「香りと音で紡ぐ『源氏物語』の世界」(講演:畑 正高、一弦琴:大西一勲)
- 2007年 「音で奏でる『源氏物語』の世界」(講演:福嶋昭治、笛:東儀秀樹)
- 2008年 「色で読み解く『源氏物語』の世界」(講演:吉岡幸雄、能:金剛永謹)

と計8回の催しを実施した。一部では古典文学の研究者を中心に講演をお願いし、二部では伝統的な芸能を中心に劇的空間を創り上げて、知的に感覚的に、「日本文化とは何か」を、



地域の人たちとともに、旧嵯峨御所を舞台として探ってきたつもりである。果たして、現代人の知性や感性に合った新しい美意識を見つけ出し、共有できたであろうか。

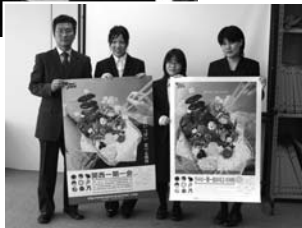
イオー、オー、オー、ボン、イオー、ボン、イオー、オー、オー、ピー、ヒヤラ、ヒョー、ボン。鼓と笛の澄んだ音が空高く吸い込まれていく。金剛流宗家による『半蔀』が始まった。石舞台の上では夕顔の霊が私たちを幽冥の世界へと誘ってゆく。舞台上に設置された蔀戸から夕顔が現われ、源氏との逢瀬の日々が華麗な舞姿で語られていく。夕顔は朱色の袴に白の装束姿。舞台前面の左右の角に立てた笹の葉影が、宗家のあでやかな舞につれて、白い装束の上で揺れている。この世ならぬ美しさは幽玄という言葉を遙かに越えていた。

非現実の世界にどのくらい浸っていたことだろう。はっと気づくと、夕顔の姿が静かに御影堂に消えていく。空には十三夜の月が皎々と輝いていた。闇の中にはまだ王朝世界の余韻がふくくと漂っている。

さて、次回にはどのような空間を演出できるのだろうか。

「ART UNIV.2008」を開催

2007年度より、京都・木屋町の元 立誠小学校と京都駅前のキャンパスプラザ京都の2会場で開催してきた「ART UNIV.」が、2008年11月11日から11月23日の期間に開催されました。「ART UNIV.」とは、京都に位置する芸術系の10大学が参加する合同企画事業で、今回で第9回を迎える芸術系大学作品展のことです。2008年度の「ART UNIV.2008」では、本学の芸術学部より22名、短期大学部より9名の学生が参加しました。



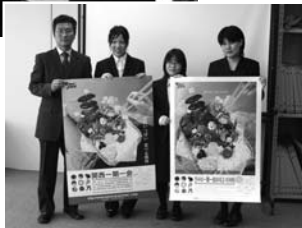
「GEISAI MIAMI 2008」に本学の大学院生が出演！

現代アーティストの村上隆氏が主催する「GEISAI MIAMI 2008」に本学大学院生の大源麻友さんが招待出演されました。2008年12月3日から7日までアメリカ・マイアミにて開催された本イベント会場で、2メートル四方の曼荼羅をはじめ、約20点の作品を出品されました。大源さんは本学の大学院にて日本画の古典技法を学ばれており、2008年5月11日(日)に東京ビックサイトにて開催された「GEISAIミュージアム2」でも2位を受賞され、注目を浴びました。

国際PRのデザインコンペで本学学生作品が選出

関西広域機構が主催する国際PRのポスター・ロゴデザインのコンペにて、見事、本学観光デザイン学科の学生作品が採用されました。このコンペは関西の魅力を東アジア(韓国、台湾、

香港)に対して効果的にアピールするために「関西、一期一会」というテーマのもと、ロゴマークとポスターを募集するという内容で、観光デザイン学科3回生の刀欄あおいさん(ポスター)と、同じく観光デザイン学科3回生の鷺阪智恵(ロゴ)のデザインが優秀作品(採用作品)に選ばれました。また表彰式が2008年11月25日に大阪国際会議場で行われました。採用されたデザインは2008年の12月に、香港、台北、ソウルでの地下鉄や商議施設の広告看板として掲出されました。



大学行事

ハロウィン

今年度のハロウィンは10月30日・31日の2日間実施しました。主なイベントはハロウィン仮装コンテストで、女子学生5名と男子学生5名に仮装してもらい、ファッションショーよろしく学生ホールに設置した舞台上を歩き、クイーンとキング各1名を審査員と集まった学生で選出、豪華(!?)な賞品を渡すという企画でした。その他の企画はお菓子、カボチャスープの配布、ビンゴ大会、映画上映、軽音ライブ、フリマ、中庭・学生ホールを中心とした学内装飾等、盛りだくさんな企画内容でした。

嵐芸祭(学園祭)

嵐芸祭を盛り上げるために、イラストレーターの西村軍団、本学卒業生の安斎レオ氏(玩具プロデューサー)、山

下誠氏(出版プロデューサー)との親密な交流会を実施しました。さらに11月15日にはイラストレーターの中村佑介氏をお招きし、本学第6演習室にて学内外の観客250名を集めた講演会を実施しました。講演会終了後も中村佑介氏のサイン会が行われるなど16時から21時まで観客との熱き交流がありました。

嵐芸祭は11月22日・23日に開催されました。テーマは【「裸」むけ!心の皮】普段の仮面(皮)をはずし、日常において関わりの少ない他科の学生同士の関係、及び大学全体の交流を深めることを目的に、との思いがありました。今回の嵐芸祭は例年になくイベントが多くあったため、学内全体が2日間大いに盛り上がりました。主なイベントはスチャダラパーの音楽ライブ、第1回京都嵐山ファンタスティック映画祭、バカ映画の巨匠・河崎実の世界(河崎監督自らの講演会及びシンポジウムの実施)、P-1グランプリin嵯峨芸(キャラクター作品を集め、グランプリを決めて実際に商品化する企画)、吉本芸人によるお笑いライブ、同窓会主催の卒業生による講演会と卒業生と在校生の交流会、在校生の作品展(嵐芸展)、宝さがし、クラブのイベント、模擬店、フリーマーケット等、多くのイベントが催され学内全体及び地域との交流も深まりました。



冬の祭典(クリスマスイベント)

今年度の「冬の祭典」は12月19日に実施しました。主なイベントは立食パーティー、ビンゴ大会、軽音ライブ、お菓子配布、クリスマス装飾、やけっぱち聖☆Nightによる学内同時多発的パフォーマンス(玄関ホール:演奏、ライブペイント、朗読、弾き語り等)外部から招聘したインディーズバンド「THE OPENING CLOUD」の演奏等でクリスマスの雰囲気盛り上げました。

地域連携

「京都・嵐山花灯路2008」開催！

「京都・嵐山花灯路2008」が12月12日から21日まで開催され、本学からは学生作品展示を中心に参加しました。観光デザイン学科は5グループが会場内に工夫を凝らした作品を発表、来場者の目を楽しませていました。造形学科彫刻分野は大覚寺大沢池内に光を受け水上に舞う蝶の姿を表現、華やかに会場を彩りました。また、本学が地域連携として取り組んでいる嵯峨・嵐山には欠かせない巨大行灯が大覚寺と中の島公園に展示され花灯路にアクセントを加えました。



カフェ・ギャラリー「嵯峨野湯」にて展覧会を開催

11月24日から12月7日までの期間、本学短期大学部イラストレーション領域の学生&教員約60名以上が参加し、

カフェ・ギャラリー「嵯峨野湯 / SAGANO-YU cafe style resort in kyoto」にて展覧会『FURO - E(ふろ絵) in ARASHIYAMA vol.1』を開催しました。展覧会場である嵯峨野湯はJR嵯峨嵐山駅より徒歩すぐの場所にあり、もともと銭湯であったという建物の歴史を踏まえ、昔なつかしい銭湯の背景画ぬり絵や脱衣場のエlemenツなどをモチーフにしたイラストレーション、動画作品などを展示しました。



特別講座

特別講座「エイリアンプロダクションズ」開催

マルティン・ブラインドル(1963年オーストリア生まれ)、ノーベルト・マッ(1962年イタリア生まれ)、アンドレア・ソドムカ(1961年ウィーン生まれ)、オーガスト・ブラック(1975年アメリカ生まれ)のメンバーにより1985年に結成したアーティストユニット「エイリアンプロダクションズ」による特別講座が12月10日に本学AVホールにて開催されました。オーストリアを拠点に活躍する新進メディアアートグループの作品を、彼ら自身で解説・紹介するという贅沢な時間となりました。会場には本学学生たち約50名が集まり、海外作家たちの生の意見と感性に

触れられた稀有な機会となりました。



博物館・ギャラリー企画展報告

本学附属博物館では、10月21日～11月29日まで『京都嵯峨芸術大学収蔵品と菊井コレクション 扇―貿易扇とその時代―』を開催しました。本学収蔵の貿易扇と、本学の卒業生(前嵯峨美術短期大学専攻科日本画グループ修了)で扇上絵師である菊井伯幸氏の扇コレクションの中から75点を展示しました。また1月10日～1月25日までは『中西宏明 漆芸展 URUSHI & GLASS EXHIBITION』を開催しました。本学の卒業生(前嵯峨美術短期大学洋画グループ卒)中西宏明氏の、漆と硝子がコラボレーションした作品を展示しました。

また本学附属ギャラリーでは、10月から12月にかけて『グラフィックデザインOB/OG フロント展』『DATA GLASS PROJECT 2008 homo audience 一音の庭一』『第6回 SAGA ART JAM展』『嵯峨地域小中大連携交流展』が行われました。博物館展示や『OB/OG展』を通して、卒業後も多方面で活躍している先輩方の作品をみる事ができたのではないかと思います。また、本学名誉教授伊勢信子先生より、雛人形一対が寄贈されましたことを、ここに報告いたします。